

議 案 提 出 書

件 名 安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書(案)

上記の議案を別紙のとおり、長野市議会会議規則第14条第2項の規定により提出します。

令和2年12月11日

長野市議会議長 小 泉 栄 正 様

提出者 長野市議会 福祉環境委員会
委員長 若 林 祥

安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書（案）

2020年の新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本国内でも経済活動や国民生活に深刻な影響を及ぼしました。この感染症対応の経験から明らかになったことは、感染症病床や集中治療室の大幅な不足や、それらを中心的に担っている公立・公的病院の重要性、医師・看護師・介護職員の人員不足などです。

21世紀に入り、僅か20年の間に、SARS、新型インフルエンザ、MERS、そして、今般の新型コロナウイルス感染症と、新たなウイルス感染症とのたたかいを短い間隔で強いられ、今後も新たなウイルス感染症への対応が必要になることは明らかです。

新型コロナウイルス感染症に対応した教訓を経て、新たなウイルスの感染拡大や自然災害などの事態の際に、経済活動への影響を最小限に抑え込むためにも、医療・介護・福祉、そして公衆衛生施策の拡充は、喫緊の課題です。

ついては、国民が安心して暮らせる社会実現のため、国においては、下記の事項を実現されるよう、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

記

- 1 今後の新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉の適切な財源確保を行うこと。
- 2 公立・公的病院の統合再編や地域医療構想については、地域の実情を踏まえ慎重に検討を行い、医療体制の充実を図ること。
- 3 安全・安心の医療・介護提供体制を維持・発展させるため、医師・看護師・医療技術職・介護職等の安定的な確保方策を講ずること。
- 4 ウイルス研究、検査・検疫体制など公衆衛生の強化・拡充を図ること。
- 5 医療・介護等の社会保障制度を安定的に運営していくため、保険料の上昇抑制が図られるよう、必要な財政措置を講ずること。

令和2年12月14日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
厚生労働大臣

宛

長野市議会議長 小泉栄正